

陸軍少飛平和祈念の会、会報 No25 号

2021(令和3)年7月

- ◎本会のHPは、<http://sho-hi.sakura.ne.jp/> です。どうぞご覧ください。
- ◎月例会は、開催を自粛させていただいております。
- ◎経費節減のため、会報をメール配信に切り替えています。パソコンのメールアドレスを、heiwakinen@sho-hi.jp までお知らせください。

「元少年飛行兵ビデオ証言第二集」の刊行のため、会報 No25 号の発行が遅れました。申し訳ありません。この会報は、「証言第二集」と一緒に送付させていただきます。

(1) 「元少年飛行兵ビデオ証言第二集」が完成しました。

「第一集」以後、時間がかかってしまいましたが、「第二集」が完成しましたので会員の皆様にお届けします。印刷部数は第一集と同じ500部です。取材経費や文字起こし費用を入れると作成原価は約千二百円ですが、希望者には前回同様、印刷費のみの実費で頒布いたします。「第一集」の時に全国から読みたいとの希望が寄せられた方にも連絡を取ってお送りしました。会員の皆様の周辺に読みたいという希望者がいらっしゃいましたら、連絡をいただければお送りいたします。

送付を希望される方には、印刷実費500円と郵送料300円計800円の郵便切手をご負担して頂いています。〒151-0071、渋谷区本町6-7-7 鳥海賢三までお送りください。

(2) 真如苑の助成金が獲得出来ました。

令和3年度の真如苑の助成金ですが、令和2年度末に50万円の助成を申請をし、書類審査が合格して、令和3年4月11日に立川で面接を受けました。5月上旬に審査が無事通り助成金決定通知書が送られてきました。5月23日助成金の贈呈式がオンラインで行なわれ、助成金の受領が正式に認められました。

これで令和3年度に使用できる助成金は、大竹財団の50万円と真如苑の50万円、合わせて100万円となり、今年度中に元少年飛行兵ビデオ証言の「第二集」と「第三集」の刊行が出来ることとなりました。

(3) ビデオ収録と文字起こしの実施状況

令和3年以降ビデオ収録が実施出来ていません。元少飛の方々は、皆さ

まご高齢ですので、一時も早いビデオ収録の実施が望ましく、コロナ禍の早期の収束を願っているところです。可能であればあと3～4名のビデオ収録を実施したいと考えています。

またビデオ収録の文字起こしですが、NPO法人FJK（フォーラム自治研究）の協力を得て進めています。今年度3回目の業務委託を行ってビデオ収録者全員の文字起こしを完了させる考えです。これにより来年度以降のビデオ証言第四集、第五集の刊行を進めてまいります。

(4) 会員の皆様、今年度の会費納入をお願いします。

4月に柏市の岸佳子さんから今年度の会費を受領しました。ありがとうございました。本会の会計の現況ですが、手持ちの預金、為替、現金等が約76万円となっています。今年度第二集と第三集の刊行、6名程度の文字起こしを実施すると70万円強が必要ですので、今年度末の残金は5万円弱が見込まれます。今後の出版を可能とするため来年度の助成金を申請しますが、会員の方々には、貴重な財源である今年度の会費千円を、同封した「ゆうちょ銀行の為替振込票」で振り込むか、千円分の郵便切手を〒151-0071 渋谷区本町 6-7-7 鳥海賢三までお送り下さるようお願い致します。

(5) 令和2年度の会計決算監査をしました。

令和3年5月4日指田会長宅で、立会監査人を青木武門会員にお願いして、令和2年度の会計決算の監査をしていただきました。3月31日現在のゆうちょ預金の口座残高が637,148円、郵便為替残高62,250円、手元現金58,071円と領収書等の証拠証票を確認していただき、会計処理が正確に行われていると承認していただきました。

(6) 「ファミリーヒストリー」の放送日が決まりました

NHKの番組「ファミリーヒストリー」の取材に協力しています。前回のハリセンボンの近藤春菜さんの祖父に引き続き、今回は所ジョージさんのお父さんが少飛14期乙として昭和18年4月に岐阜陸軍整備学校に入校し、南京に出征していました。

会員の11期鈴木善雄さんなどに情報収集に協力していただきました。ありがとうございました。放送日が終戦記念日に近い8月10日に決まったと連絡がありました。どうぞご覧ください。

(7) 8月20日少飛17期の金徳泰さんのお話を聞きます

令和3年8月20日「元少年飛行兵ビデオ証言第一集」に収録されている少飛17期金徳泰さんのお話を聞く会を開催します。この催しは、大竹財団の助成事業の一環としてNPO法人FJK(フォーラム自治研究)

と共催して実施します。場所は千代田区神田佐久間町 1-11-7、千代田区和泉橋区民館、午後 1 時半から約 2 時間、無料です。聴取をご希望の方は直接会場にお越しください。

(8) 新入会員です

愛知県一宮市の佐藤たかひろさんです。愛知県の清洲飛行場に展開していた飛行第五戦隊に関心があり勉強中とのこと。本会への入会を希望されています。よろしくお願いします。

(9) 15 期甲滝波登さんのビデオ収録の実施

令和 2 年 8 月 29 日 15 期滝波登さんのビデオ収録を町田市のご自宅で実施しました。滝波さんは本会の前身である少飛平和祈念館設立委員会の主要メンバーの一人でした。体調を崩されていましたが、ようやくビデオ収録を行うことが出来ました。お話の冒頭部分をご紹介します。全体は後に証言集に掲載します。



● 静岡県、上川根の生まれ

大正 14 年 4 月 26 日、静岡県の上川根村千頭で生まれました。一番上の姉は小さい時に死んでいるので私は知らないのです。次兄は戦死しています。弟は戦後ですが病気で死んでしまっ。本当は女 2 人男 4 人の 6 人兄弟だったのです。残った家族は 3 人です。私が三男で、妹が一人、一番下に弟がいます。

昭和 2 年に上川根村の大間小学校に入学しました。昭和 8 年に 6 年生を卒業してから 1 年間ブラブラしていました。小学校は 6 年までしかなかったんです。上級校に行きたくて行きたくて。就学資金を当時はくれなかったんです。1 年経ってから営林署に入ったのです。営林署というのは皆さんご存知ないかもしれないけど、皇室の山なんです。帝室林野局でした。今はなくなっていますが。それで仕事をやったんです。伐採やったり、いろいろ道を造ったりしました。

●在職中に少年飛行兵を志願

林野局に在職中に少年飛行兵に志願しました。次兄も同じ林野局土木課にいて木道を造っていて、私が少年飛行兵に合格した後に、出征して工兵になっています。親父も林野局で作業員を雇って伐採する仕事をしていました。一家で林野局に勤めていたようなものです。お袋は私が小学5年生の時に病気で死んでいます。親父も兵隊に行っていましたし、祖父も日清戦争に行った家ですから、親父は行け行けと言うほうで、誰も反対する人はいませんでした。試験を受けようと思って、一生懸命勉強しました。

●身体が小さいので飛行機乗りになれないと思っていた

昭和17年8月、東京陸軍航空学校に入校するため営林署を退職しました。親父は反対しなかったのですが、職場の偉い人、主任が少年飛行兵などに行ったら死んでしまうよと、行くなという訳です。湯呑の底を指して「お前は底にいる。上に出て来れる訳がない」と言うのです。最期には「俺が学校を出してやる」と言い出したんです。軍隊に行って帰って来た人でした。私は「いやだ、飛行機乗りになりたい」と。飛行機乗りになりたいというより、東京陸軍航空学校に入校する時は整備になるつもりで入ったのです。身体が大きくないからとても飛行機になんか乗れないと思っていました。飛行機乗りの中では一番チビでした。

昭和17年2月に試験を受けて、4月には10月に入校せよと通知が来ていました。少年飛行兵になることに反対していた主任が封を切ったらしいのです。友達が航空学校に合格したよ、通知が来たよと教えてくれました。

●昭和18年の制度改正、東京陸軍少年飛行兵学校に

私が少年飛行兵に志願した時は、次兄も同じ帝室林野局の土木課にいました。昭和17年2月に受験をした時には身体検査も受けました。少飛14期生も一緒でした。私が正式に少飛15期甲になったのは昭和18年4月です。その時、東京陸軍航空学校が東京陸軍少年飛行兵学校に名称変更し、少年飛行兵、少飛が制度化されたのです。それで遡って、昭和9年に入校した所沢陸軍飛行学校生徒を少飛第1期としました。昭和9年の頃は陸軍少年航空兵だったと思います。少飛の甲乙の制度も昭和18年3月末に決まったのです。ですから私は、昭和17年10月に東京陸軍航空学校に入校しましたが、昭和18年になって少飛15期甲になったという訳です。